

感 染 症

相双地域感染症発生動向調査週報(2026年第40週)

(令和8年9月28日～令和8年10月4日)

令和8年10月7日

定点報告(上段:定点当たり／下段:報告数)、全数報告(報告数)		2026年					2025年 合計	2024年 合計
区 分	疾 病 名	37週	38週	39週	40週	合計		
定点報告	インフルエンザ	4.00	4.67	6.00	9.00	—	—	—
		12	14	18	27	664	2,558	1,616
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	4.00	6.33	2.00	3.67	—	—	—
		12	19	6	11	245	1,139	3,622
	RSウイルス感染症	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	31	156	309
	咽頭結膜熱	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	9	78	337
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.50	0.50	—	—	—	—	—
		3	1	0	0	119	243	657
	感染性胃腸炎	0.50	1.00	1.00	1.00	—	—	—
		1	2	2	2	138	430	610
	水痘	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	8	10	6
	手足口病	3.00	1.00	—	0.50	—	—	—
		6	2	0	1	134	15	952
	伝染性紅斑	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	141	0
	突発性発しん	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	20	59	182
	ヘルパンギーナ	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	16	4	19
	流行性耳下腺炎	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	1	10	13
	急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎	—	—	1.00	—	—	—	—
		0	0	1	0	2	2	9
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	4	16	1
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	0	0
	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎	1.00	4.00	—	2.00	—	—	—
		1	4	0	2	28	42	16
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	0	0
	インフルエンザ入院	—	—	1.00	—	—	—	—
		0	0	1	0	9	39	19
	新型コロナウイルス感染症(入院)	—	2.00	—	1.00	—	—	—
		0	2	0	1	25	56	120
	急性呼吸器感染症(ARI)	51.67	63.67	45.00	42.33	—	—	—
		155	191	135	127	6,705	8849	—

カラー流行表示は、福島県感染症発生動向調査週報(IDWR)の表示をそのまま表示しています。

定点把握疾患	インフルエンザの流行が見られます。
--------	-------------------

インフルエンザ	相双地域及び県(県内総数)は、前週と比較して増加しました。 A型が流行しており、県内の多くの地域で報告数が多い状況が続いています。引き続き注意が必要です。手洗いの徹底等、基本的な感染対策を心がけるとともに、ワクチンの接種を検討しましょう。
新型コロナウイルス感染症	相双地域及び県(県内総数)は、前週と比較して増加しました。 基本的な感染対策を徹底し、感染に注意しましょう。
マイコプラズマ肺炎	本県で11例報告がありました。 いわき市からの報告が多い状況です。マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマと呼ばれる細菌に感染することで発症する呼吸器感染症で、小児や若年層を中心に流行します。感染経路は飛沫感染や接触感染で、感染してから2～3週間で発熱や全身の倦怠感、頭痛、痰を伴わない咳などの症状が見られます。軽症例がほとんどですが、重症化する事例もあるため、長引く咳などの症状がある場合は医療機関を受診しましょう。
急性弛緩性麻痺	本県で1例報告がありました。 県内では2019 年に報告されて以降、7 年ぶりの報告です。全国では年間4040～50 例程度報告されています。急性弛緩性麻痺はエンテロウイルス属などの種々の病原体からの感染等により急な弛緩性の運動麻痺症状を呈する症候群です。多くの事例で何らかの先行感染があり、手足や呼吸筋などに筋緊張、筋力の低下や、筋萎縮などが生じます。

インフルエンザの報告数が増加しています。感染の拡大を防ぐため基本的な感染対策の徹底をお願いします。

- ・咳やくしゃみ等の症状があるときは、マスクを着用したり、鼻や口をティッシュ等で覆うなど、他の人への感染拡大防止に努めましょう。
- ・流水・石けんによる手洗いは手指など体についたウイルスを除去するために有効な方法です。こまめな手洗いに努めましょう。
- ・室内ではこまめに換気をしましょう。窓開けによる換気は、対角線上にあるドアや窓を2か所開放すると効果的な換気ができます。
- ・普段と体調が異なる場合には、出勤や登校を控えるなどの体調管理に留意してください。

(参考・引用)福島県感染症発生動向調査、感染症週報、2026年第40号